## がんが **含芽**(1715~1769)

**俳人。商人。**和気郡三津村(現、松山市)を中心に活動した人。本名は松田次郎左衛門信英。屋号「唐津屋」を持つ豪商として重んじられていた。京の淡々流の俳人・山口蘿八に師事し、俳諧を学ぶ。当時、松山は蕉風俳諧が行われていたが、含芽だけは淡々流の俳人として活躍した。栗田樗堂の岳父にあたる。

## 略歷

正徳 5 (1715)年 出生

延享元(1744)年11月 芭蕉の追善興行で詠まれた句をまとめた句集『俳諧霜夜塚』(小倉志山編)が刊行。

含芽の句が収められている。

せる。

明和6(1769)年7月6日 55歳で永眠

## 〈関連図書〉

・星加宗一『愛媛文化双書23 伊予の俳諧』 愛媛文化双書刊行会 1975年

・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 文学』 愛媛県 1984年

・松井忍ほか編著『伊予俳人 栗田樗堂全集』 和泉書院 2020年